

青春の坂道

～前沢高校 我等が母校～

母校・前沢高校に産休代替教員としてやってきた佐和子は、学生時代に憧れていた基裕に再会する。平成12年、前沢高校野球部が県予選ベスト4進出を決めた試合に心打たれて進学した基裕は、今もお、後輩たちのために野球部のコーチとして、また、前沢半学の特設講師として母校に関わっていた。かたや佐和子は、いまだに自分の道に迷い、地元である前沢と関わる事が出来ずにいた。「先生かっこ悪い」――、美術部員の莉南の言葉に、佐和子は母校・前沢高校と向き合うことを決意する。恩師である大内校長や美術部員の生徒たち、今も気に掛けてくれる学生時代の友人たちに背中を押され、佐和子は前沢高校を舞台とした脚本を書き始める。



奥州の市民劇

熱い冬、再び――
ことしも3つの手作り劇場が市内各地で上演され、キャスト、スタッフ、観客の情熱が地域に熱を与えました。市民に届けられた、笑い、怒り、涙の感動が、次の冬にも新しい情熱を生み出すことでしょう。

1月28日、1月29日
第9回奥州市民★文士劇
「石川五右衛門 ―あっぱれ！ 天下の大泥棒 太閤様にも申す―」
江刺体育文化会館（ささらホール）

2月19日
第17回奥州前沢劇場
「青春の坂道 ～前沢高校 我等が母校～」
前沢ふれあいセンター

2月26日
第33回奥州胆沢劇場
「怒者伝 IKA MONO DEN」
胆沢文化創造センター



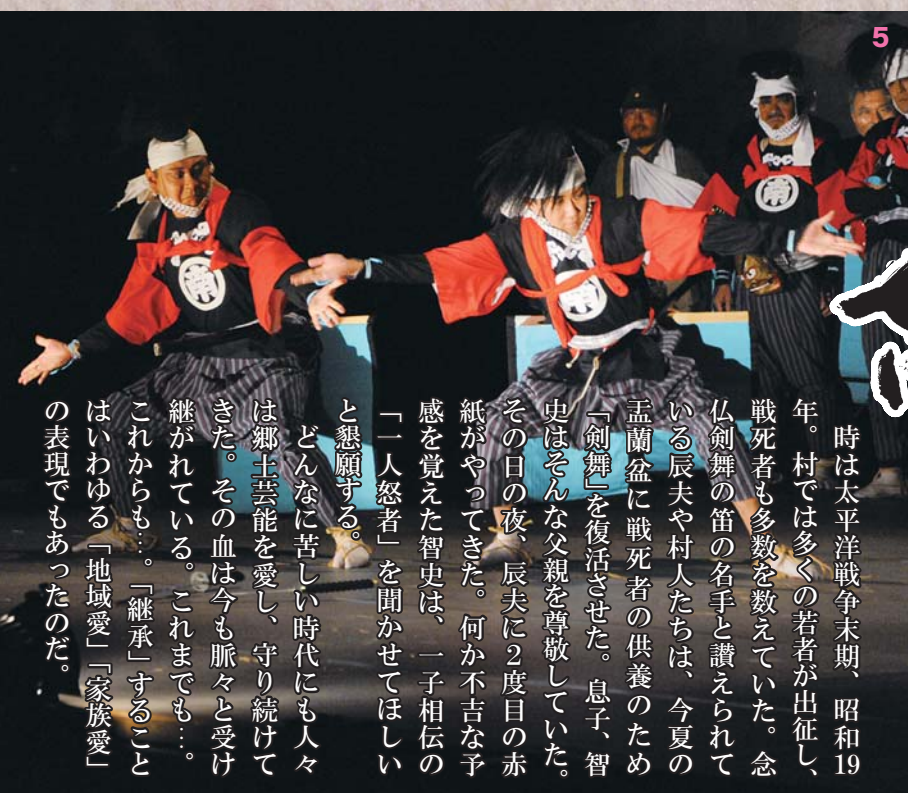
1 基裕とのふいの再会に動揺する佐和子
2 高校時代の思い出。けがをした基裕を励ます佐和子
3 生徒の言葉をきっかけに前沢高校と向き合う
4 佐和子脚本の前沢劇場は大成功。お祝いの場に前沢ギュー太に扮した基裕が現れ花束を贈る
5 手を取り合い青春坂を登る二人



1 南禅寺で見得を切る五右衛門
2 振り返りにした追いはぎを手下にする
3 秀吉にさらわれた薫を救い出すも、五右衛門をかばい薫は命を落とす
4 仲間を救うため釜茹での刑を受け入れる
5 才蔵たちの助けにより窮地を脱した五右衛門は新天地を目指す

石川五右衛門

―あっぱれ！ 天下の大泥棒 太閤様にも申す―



怒者伝 IKA MONO DEN

1 戦場に向かう父・辰夫より笛を託される智史
2 村人に請われても、智史は不名誉な死を遂げた父への嫌悪感から剣舞を舞うことができない
3 復員兵から父の死の真相を知らされる
4 エンディングでは出演者が見守る中、南下幅念佛剣舞保存会が剣舞を披露
5 カッカタの導きで亡き父が現れ、智史と共に「二人狂い」を舞う



信長の伊賀征伐から生き残った五右衛門は一族の敵を討とうとするが、信長は本能寺で自害。代わって天下人となった秀吉は権力に溺れ民百姓を苦しめていた。秀吉の横暴にあらがうため、五右衛門は盗賊の頭となり、追いはぎ崩れの手下たちと共に盗んだ金を民百姓に分け与える。
秀吉の配下となった盟友霧隠才蔵の誘いを断る五右衛門に待っていたのは、幼なじみ薫の死。意を決した五右衛門は二条城へ突入し秀吉の首を狙うが、手下たちを救うためお縄となる。三条河原には五右衛門処刑のため、油で満たされた大釜が用意されていた。

